

第2期香美町スポーツ振興計画

スポーツって
楽しいね♪



令和 4 年 3 月
香美町教育委員会

目 次

第1章 計画の概要

- 1 計画策定の背景と趣旨 P3
- 2 計画の期間 P3
- 3 計画におけるスポーツ P4
- 4 計画の位置づけ、体系 P4

第2章 現状と課題

- 1 スポーツを取り巻く国内の社会環境 P5
- 2 スポーツのニーズ P5-6
- 3 香美町の現状 P6-10
- 4 香美町のスポーツの現状 P11-18

第3章 スポーツ振興の方針

- 1 基本理念 P19
- 2 基本方針 P19
- 2 基本施策、体系 P19-20

第4章 基本施策の展開

- 1 生涯スポーツの推進 P21-24
- 2 香美町ならではのスポーツの推進 P24-25
- 3 スポーツ団体の活動強化と競技レベルの向上 P25-27
- 4 ユーススポーツ大会等の開催 P27
- 5 スポーツツーリズムの推進 P27-28

第5章 施設の充実と計画の推進

- 1 施設整備の充実、利用率の向上 P29-30
- 2 計画の推進と体制 P30-32

- 資料 P33-36

■ 第1章 計画の概要

1 計画策定の背景と趣旨

香美町では、「香美町スポーツ推進計画」（平成27年度～令和3年度）に基づき、町の特徴を生かしたスポーツ文化の定着を目指し、町民がそれぞれの体力や年齢に応じた豊かなスポーツライフを楽しみながら、活気のある町づくりにつながるよう「体力づくり運動」を推進してきました。

国では、「第2期スポーツ基本計画」（平成29年度～令和3年度）の策定、兵庫県では、「兵庫県スポーツ推進計画」（平成24年～令和3年度）の策定が行われ、国は、スポーツで、「人生」が変わる、「社会」を変える、「世界」と繋がる、「未来」を作るを掲げたスポーツ参画人口の拡大を図り、一億総スポーツ社会を実現すること。兵庫県では、全ての県民がスポーツを通じて楽しさや感動を分かち合い、共に支え合う兵庫スポーツ文化の確立を理念に、「する・みる・ささえる」スポーツ環境づくりの推進、地域スポーツとトップスポーツの連携・協働による好循環の創出が行われています。

第2次香美町総合計画では、主要施策として、「生涯を通じ学びあうまち」の中でスポーツの推進が位置づけられ、豊かなスポーツライフを楽しむまちづくりや、「見る」スポーツから「する」スポーツへの転換、スポーツのスキルアップやスポーツによる誘客を図ること。また、香美町教育振興基本計画では、「生涯学習社会づくりの推進」の中で基本方針としてスポーツ振興が位置づけられ、スポーツ大会、教室の開催、指導体制の充実を図ること等と謳われています。

そのような中、近年、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスタースゲームズ2021関西（新型コロナウイルスの影響で延期）など世界規模のスポーツ大会が行われ、スポーツへの機運の高まりを見せています。

第2期香美町スポーツ振興計画は、上記を踏まえ、前計画の成果や課題、香美町の実情や社会情勢、町民のニーズの変化等に対応し、香美町の自然をフィールドに、スポーツを通じて目標にチャレンジする人づくりを目指し策定しています。

2 計画の期間

本計画の期間は、令和4年度から令和9年度までの6年間とします。

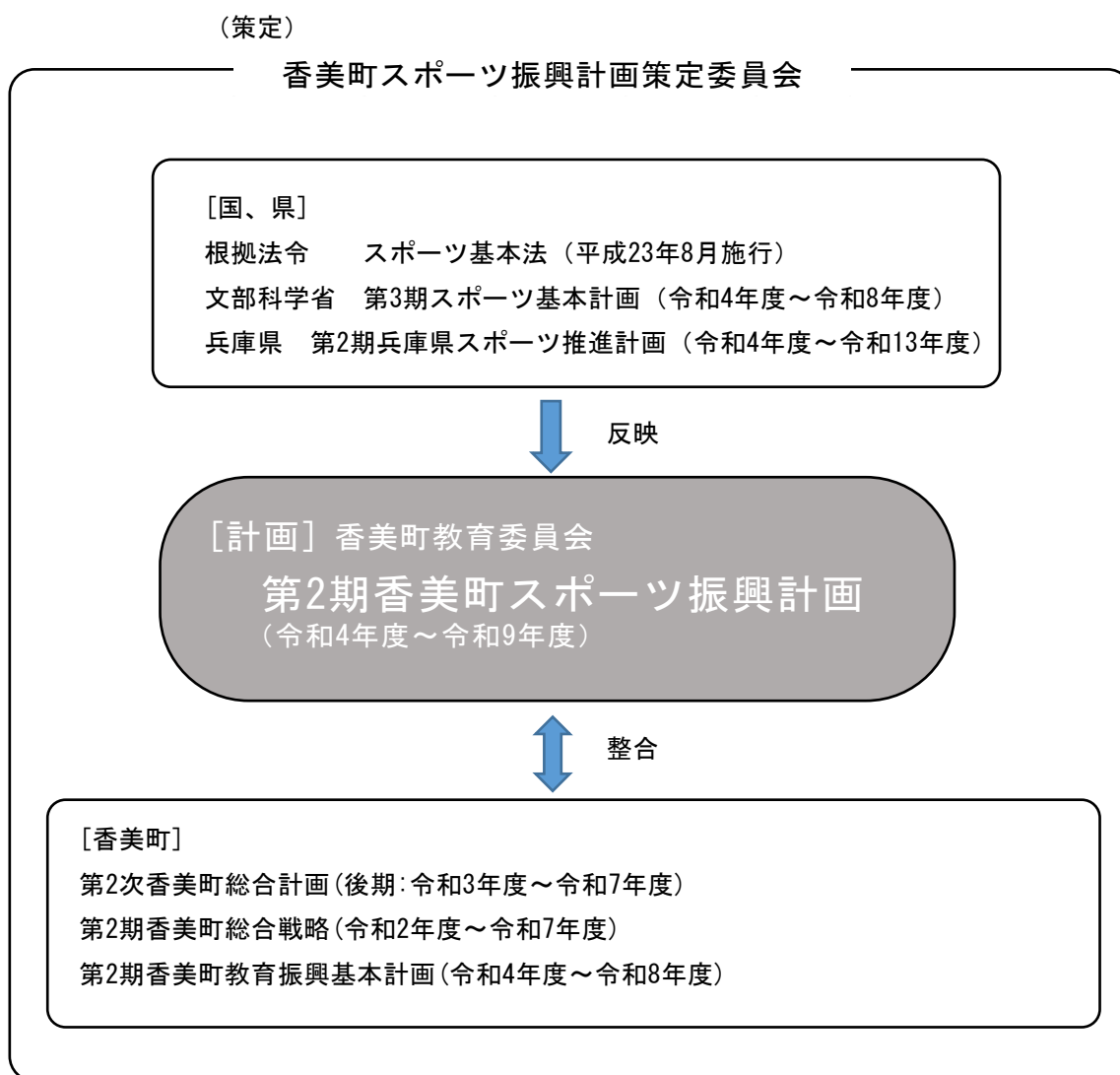
なお、計画期間中、社会情勢、町民のニーズの変化、計画の実施状況や、香美町総合計画、香美町教育振興基本計画の改訂、国、県等スポーツ施策の更新により、必要に応じて計画の見直し、改訂を行います。

3 計画におけるスポーツ

本計画のスポーツとは、体を動かすことをスポーツと捉え、ウォーキング、体操、講話を含めた健康教室、生涯スポーツや競技スポーツなど幅広く、多くの運動をスポーツと定義しています。

4 計画の位置づけ、体系

本計画は、スポーツ基本法第10条の規定に基づき策定する地方スポーツ推進計画で、兵庫県スポーツ推進計画等を踏まえ、香美町総合計画、香美町教育振興基本計画等上位計画と整合性を図り、スポーツ、アウトドア活動、観光団体、住民等から組織する香美町スポーツ振興計画策定委員会により策定し、香美町教育委員会で決定するものとしています。



■ 第2章 現状と課題

1 スポーツを取り巻く国内の社会環境

近年、我が国は、少子高齢化や情報化の進展、地域社会の空洞化や人間関係の希薄化が進んだほか、グローバル化に伴い国際的な協力・交流が活発になり、社会環境や価値観は急激に変化しています。

また、令和2年から新型コロナウイルスの感染が全土で拡大し、外出、移動の自粛が余儀なくされ、スポーツ実施率の低下や、健康二次被害が懸念される状況となっています。

このような環境の変化に対応し、持続的な発展をするためには、地域社会が健在であり続け、次代を担う青少年が協同を学びつつ健全に育ち、人々が健康に長寿を楽しむことができる社会を実現することが課題となっています。

現在、スポーツの振興については、子どもの体力の低下傾向に歯止めがかかるとともに、成人のスポーツ実施率（週1日以上運動・スポーツをする成人の割合：55.1%）が上昇しつつあります。

また、スポーツ界では、プロスポーツ及び障害者スポーツの発展や国際化の進展等の大きな環境変化が生じています。

このことから、スポーツが、青少年の健全育成や地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会・経済の活力の創造等、多面にわたる役割を担うことを念頭に、人の持つ体を動かすという欲求に応え、楽しさや喜びをもたらすという価値を高めていくことが求められています。

このスポーツの価値は、新型コロナウイルスの蔓延、東京2020オリンピックの開催を通じ、再認識されたところです。

2 スポーツのニーズ

(1) スポーツの実施状況等に関する世論調査

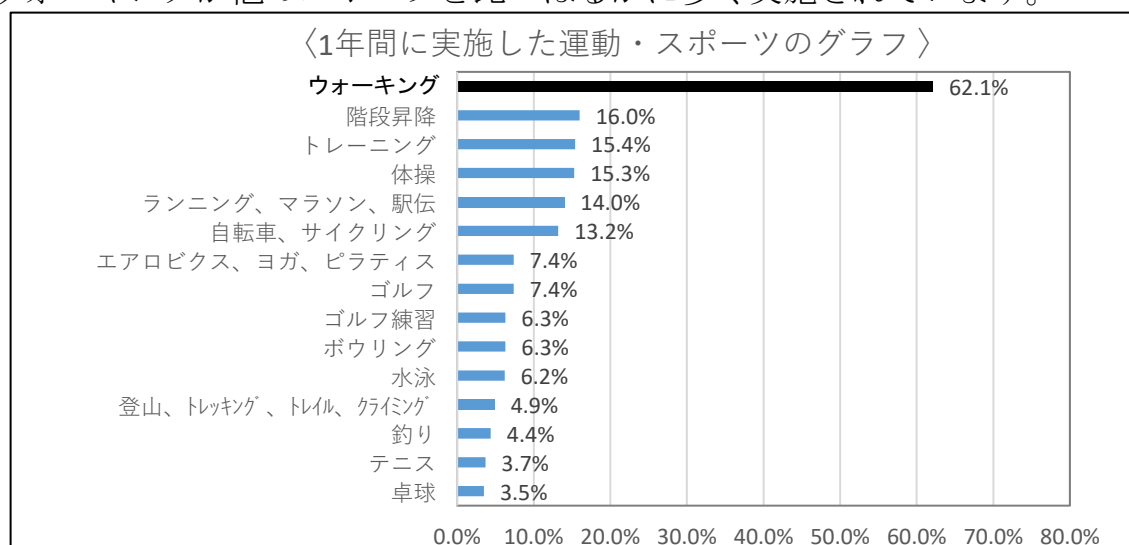
① 「1年間に実施した運動・スポーツ」

ウォーキングが他のスポーツと比べはるかに多く実施されています。

[調査]スポーツ庁

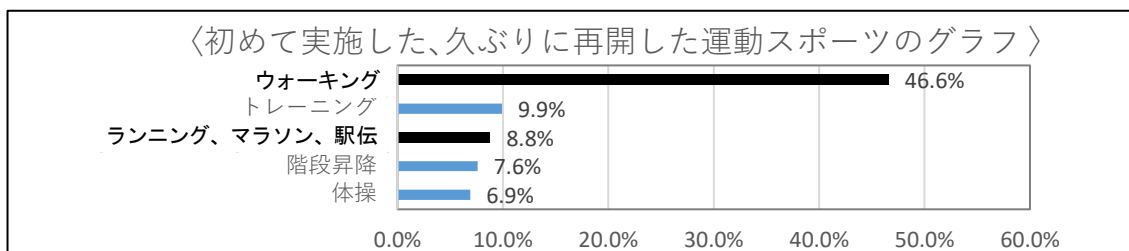
実施：平成31年1月11日から1月29日

対象：全国18～79歳男女20,000人



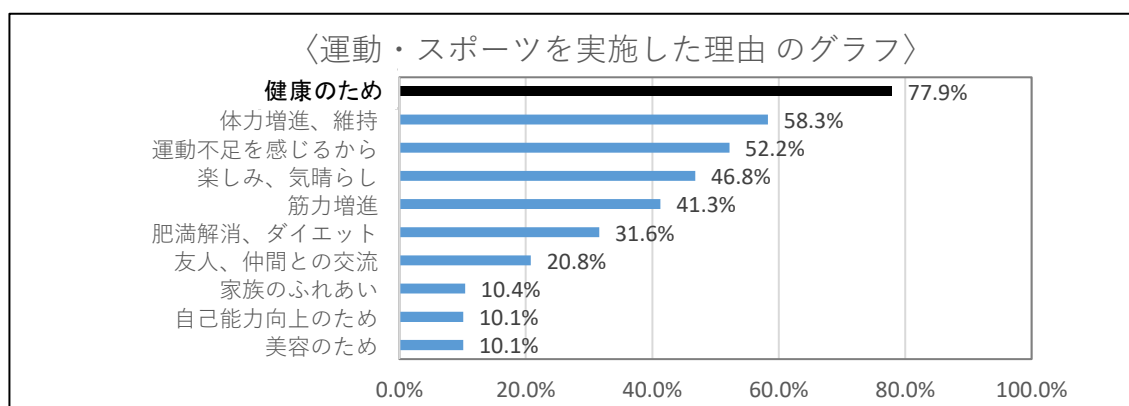
②「初めて実施した、久しぶりに再開した運動・スポーツ」

新たに実施したスポーツもウォーキングが一番多く、次いで、トレーニング、ランニング、マラソン、駅伝が上位となっています。



③「運動・スポーツを実施した理由」

健康のためにスポーツをする人が多く、次いで、体力増進、維持や運動不足のためとなっています。



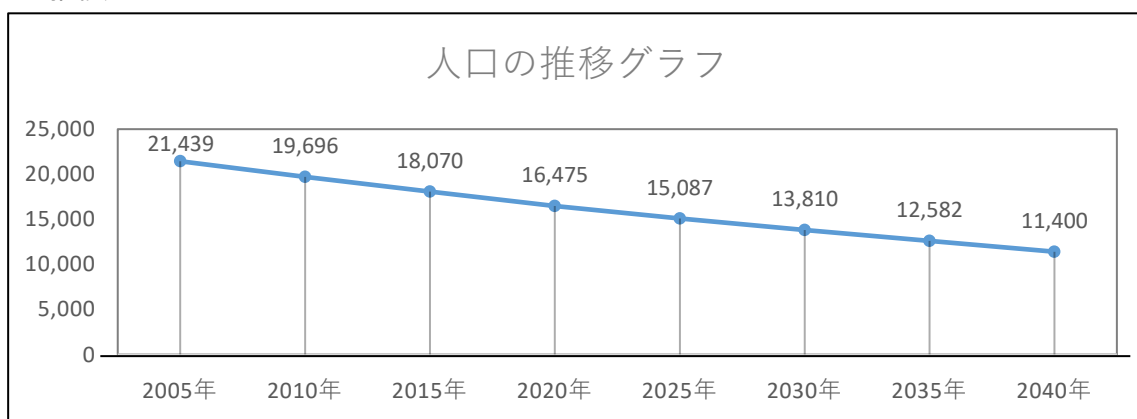
3 香美町の現状

(1) 人口

本町の人口は長年に渡り減少し、今後もこの傾向が続くとされています。この対策として、本町では、若い世代の移住・定住の促進、年少人口の(0歳～14歳)の維持、結婚・出産・子育ての希望をかなえる施策の充実により、2025年(令和7年)の人口は15,000人台を、2040年(令和22年)には11,000人台を堅持することとしています。

〈人口の推移〉

(単位：人)



	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
75歳以上	3,316	3,693	3,805	3,792	3,857	3,882	3,797	3,594
65～74歳	3,154	2,828	2,825	2,848	2,629	2,319	1,963	1,759
40～64歳	7,256	6,643	5,986	5,230	4,516	3,873	3,433	3,011
15～39歳	4,650	4,037	3,389	2,833	2,446	2,224	2,030	1,789
0～14歳	3,063	2,495	2,065	1,772	1,639	1,512	1,359	1,247
合計	21,439	19,696	18,070	16,475	15,087	13,810	12,582	11,400

〈スポーツ人口〉

現在の香美町のスポーツ人口は、各スポーツ団体、部活動に所属する人の人数を見ると、4,791人であり、町人口16,448人の29%となっています。

町人口の減少は、今後、スポーツに参画する者やそれを支える担い手の不足、学校部活動や地域におけるスポーツ・運動環境の維持の困難さに繋がると考えられるため、あらゆる世代のスポーツ機会の確保が急務となります。
(※各スポーツ団体、部活動への参画人数は計画策定時の人数、町人口は令和4年1月末時点人口。)

(2) 環境

香美町は、日本海に面し、1,000m級の山々に囲まれた地形で、山から海まで河川を有する面積約360Km²の広大な町になっています。

海岸部は山陰海岸国立公園の指定、山間部は氷ノ山後山那岐山国立公園の指定など山と川と海の豊かな自然環境を有しています。

また、町内でスポーツをするための体育施設は、体育館7棟、グラウンド6カ所、プール1棟あり、自然環境及び施設数は、スポーツを行う上で一定の整備が行われていますが、一部の施設において利用者が過密になっています。

〈町の所有する体育施設〉

項目	施設名	建築年	主構造	広さの目安	延床面積 (㎡)	車1台用トイレ /段差
屋内 施設	香住B&G海洋センター(体育館)	昭和61年	RC造	バスケット1、バレー2、柔道1面	1,716	有/無
	佐津体育館 (旧香住第二中学校体育館)	平成3年	RC造	バスケット1、バレー2面	1,128	有/無
	村岡体育館	昭和48年	RC造	バスケット1、バレー1面	965	有/無
	福岡体育館	昭和55年	RC造	バスケット2、バレー3面	1,788	無/無
	射添体育館	平成14年	木造	バスケット1、バレー2面	1,200	有/無
	山田体育館	昭和59年	RC造	バスケット1、バレー2面	450	無/有
	おじろドーム (体育館)	昭和63年	RC造	バスケット1、バレー2面	1,241	有/無
	香住B&G海洋センター(プール)	昭和61年	R造	25m、幼児	875	有/有
屋外 施設	今子浦運動場	平成1年	土	野球2、サッカー1面、照明		
	佐津グラウンド (旧香住第二中学校グラウンド)	平成3年	土	200mトラック		
	射添グラウンド	昭和59年	土	ソフト1、サッカー1面		
	相岡すこやか広場	昭和57年	芝	ソフト2、サッカー1面		
	広井多目的山村広場	平成1年	土	ソフト1、サッカー1面		
	小代健康公園	平成18年	芝、土	忠宮4,000、大谷2,700 グラウンド 2,200㎡、照明		

(※上記以外にスポーツができる施設として、各小中学校体育館・グラウンド、しおかぜ香苑、香住地域福祉センターグラウンド、御殿山公園、兎和野高原野外教育センター体育館・グラウンド、尼崎市立美方高原自然の家とちのき村多目的ホール・多目的グラウンド・テニスコート があります。)

(3) まちづくりの方向性

香美町が将来にわたり持続的に発展していくために、将来像、基本方針を定めています。推進においては、住民一人ひとりと、まちづくりに関わる多様な主体や行政が、未来の子ども達に、小さくても輝くまちをどのようにして残し、引き継いでいくのかを共有し、人と人との繋がりを大切にしながら、まちづくりを進めて行くこととしています。

(将来像)

「こどもたちに夢と未来をつなぐまち」

(基本方針)

- ・ふるさとを担う子どもを育むまち
- ・若者がいきいきと働くまち
- ・みんなが安心して暮らせる健康長寿のまち
- ・みんなで創る魅力あるまち
- ・地域の豊かな資源を生かすまち

(4) 住民のニーズ

① 第2次香美町総合計画後期基本計画に関する 令和元年度町民アンケート調査

ア「スポーツの振興事業の満足度、重要度」

スポーツの振興について、散布図を見ると、満足度はやや高い区域があるが、重要度は低い区域になっています。今後、住民の満足度を高めていく対策として、スポーツと健康を結びつける等、体を動かすことへの価値を高めることが必要であり、それにより重要度も高まると考えます。

〈各施策のスコア〉

(単位：点)

施策・取り組み	満足度	重要度
5 生涯学習活動、公民館講座等	23.4	60.2
6 人権施策の推進	18.3	48.4
7 芸術文化の振興	4.4	59.9
8 スポーツの振興	8.4	67.6
9 歴史資源や文化財の保護、活用	10.0	59.8
10 図書館活動と図書館の整備	-18.9	74.0

[調査] 香美町

実施：令和2年1月31日から2月14日
対象：町内在住18歳以上の無作為抽出した住民3,000人

[散布図]

満足度、重要度を5段階評価で点数化、その点数に回答割合を乗じて加算し、スコアを算出。結果をポートフォリオ分析し散布図に表記。

縦軸：重要度、横軸：満足度
(上に行くほど重要度が高く、右に行くほど満足度が高い)

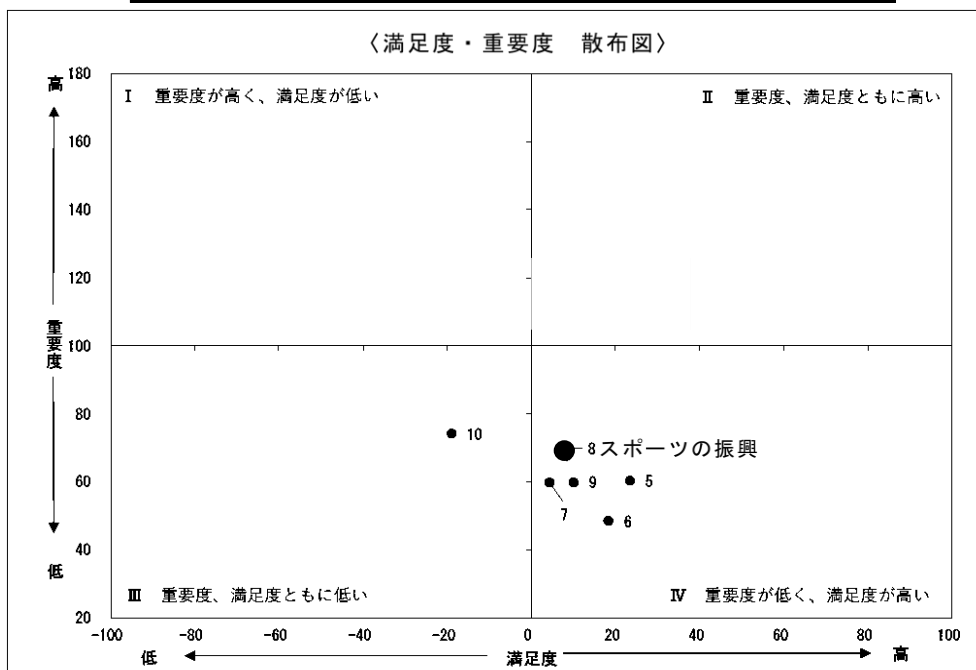
[5段階評価]

満足度：満足2点、やや満足1点、どちらとも言えない0点、やや不満-1点、不満-2点

重要度：重要2点、やや重要1点、どちらとも言えない0点、あまり重要ではない-1点、重要ではない-2点

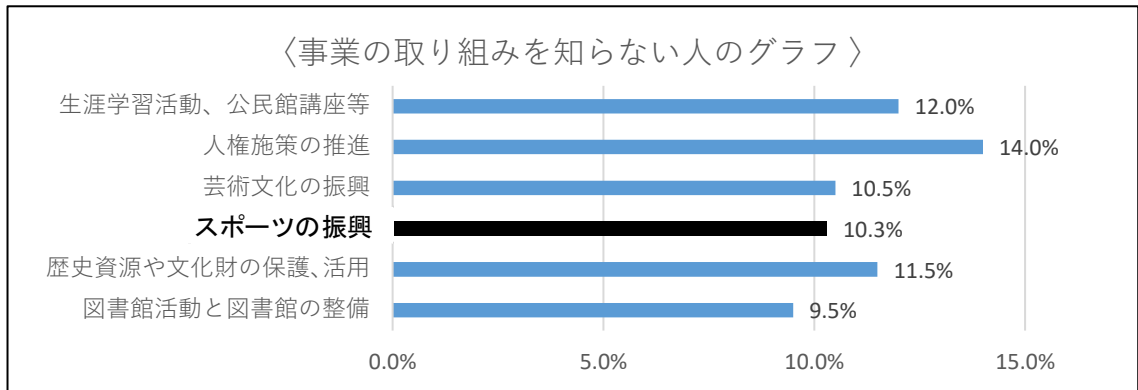
[回答割合]

満足8.3%、やや満足24.2%、どちらとも言えない47.2%、やや不満8.6%、不満3.2%



イ「スポーツの振興事業の取り組みの認知」

事業の「取り組みを知らない」と回答した人の割合は、10.3%になっています。効果的な情報発信が必要と考えます。



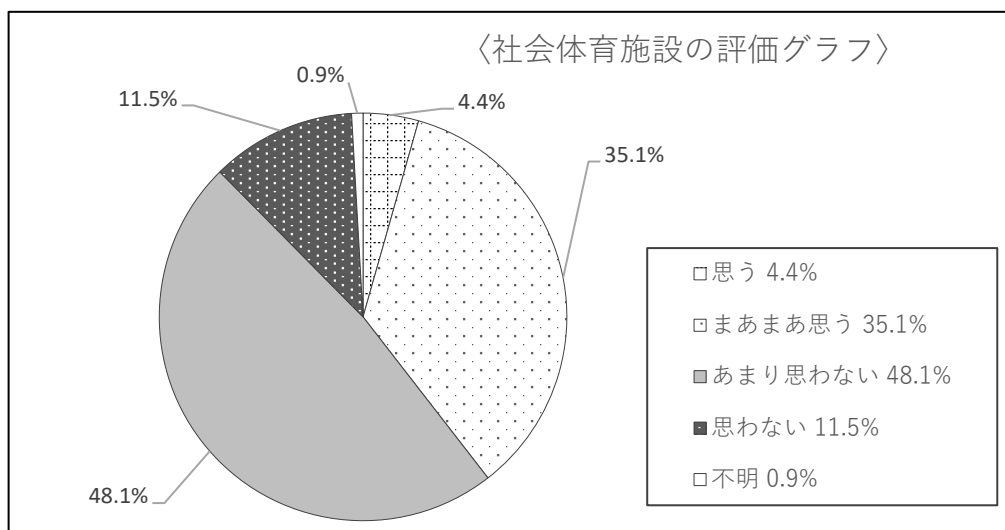
ウ 自由意見

- ・体育館等が便利に使えるようにしてもらえれば、スポーツの強い町ができ、地域の活動も活発になる。
- ・子ども達が雨の日に遊べる公園や屋内の施設がなくて困る。
- ・高齢者が健康づくりをする設備がほしい。

② 第2期香美町教育振興基本計画に関する意向調査 ア「社会体育施設（体育館、グラウンド、プール）の評価」

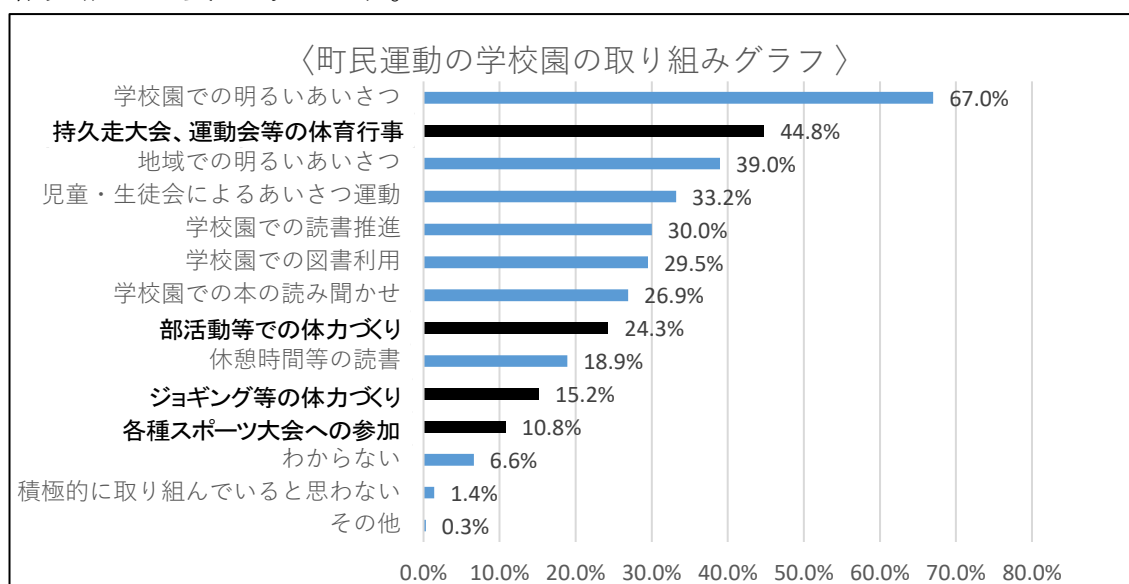
〔調査〕香美町
実施：令和2年11月9日～29日
対象：町内幼稚園・認定こども園から中学校の保護者と20歳以上の無作為抽出した住民2,009人（保護者1,009人、住民1,000人）

社会体育施設が充実しているか尋ねたところ、「あまり思わない」「思わない」で59.6%となっています。利用状況等に合わせた整備計画と施設の充実を図る必要があります。



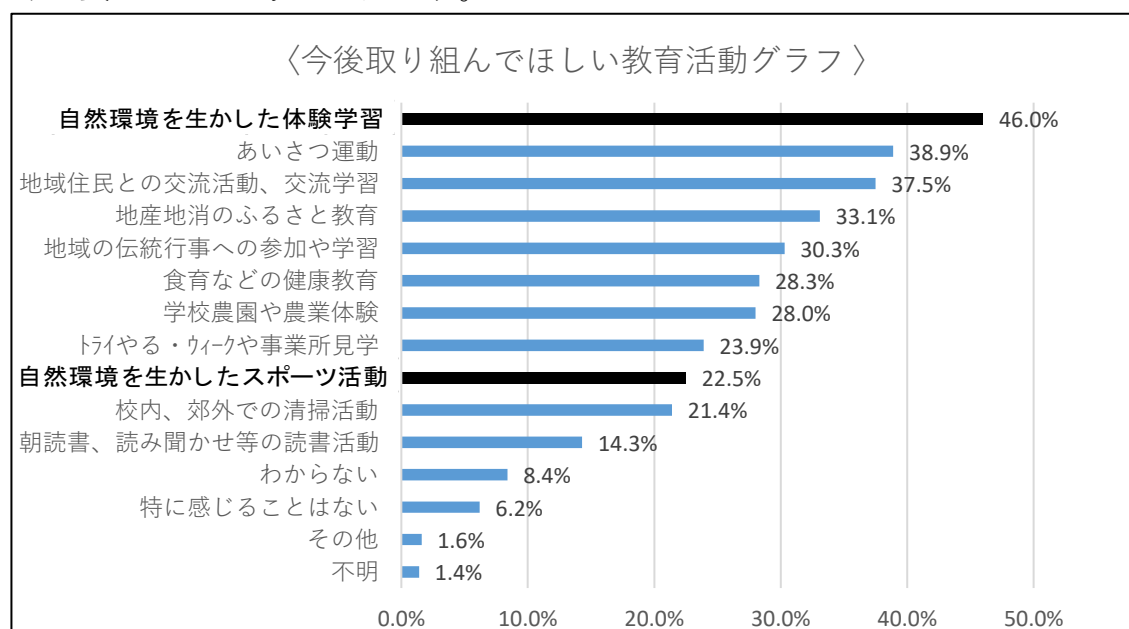
イ「町民運動（体力づくり）の学校園の取り組み」

児童、生徒の保護者へ積極的な取り組みがされているか尋ねたところ、体育行事のスポーツは高い値ですが、「部活動等での体力づくり」が24.3%、「ジョギング等の体力づくり」が15.2%、「各種スポーツ大会への参加」が10.8%であり、低いものとなっています。取り組みの推進と学校園での情報発信が必要と考えます。



ウ「今後取り組んでほしい教育活動」

今後取り組んでほしい教育活動を尋ねたところ、「自然環境を生かしたスポーツ活動」は22.5%と低いですが、「自然環境を生かした体験学習」が46%と高くなっています。競技スポーツだけでなく、体験にも重点を置く必要があると考えられます。



4 香美町のスポーツの現状 （第1期香美町スポーツ振興計画 スポーツ振興の基本施策ほか）

(1) 継続できる生涯スポーツの推進

① ラジオ体操

生涯学習課、健康課、福祉課職員、スポーツ推進委員が全国ラジオ体操指導員の資格を取得し、地域等に出向いて指導できる体制を整えているほか、町主催のスポーツ大会等で準備運動の一環として、ラジオ体操を実施しています。

② ノルディックウォーク

町職員、スポーツ推進委員、スポーツコミッションが公認指導員の資格を取得して教室やイベントを開催し、普及啓発を図っています。

〈イベント等参加者数の推移〉

イベント名 () は教育委員会以外の主催者名	開催	(実施回数：回) / 参加人数：人			
		H29	H30	R1	R2
ノルディックウォーク教室	5～12月	(27)	(24)	(34)	(4)
		297	206	450	33
ウォーキング イベント (ウォーキング ネットワーク会議)	通年	942	215	93	-
ゆったりウォーク (小代地域局)	11月	412	343	111	-
ノルディックウォーク&ピザ (兎和野)	4月	19	30	10	-
ハチ北高原ダ イエットウォーキング (村岡観光協会)	6月	51	68	81	-
山陰海岸ジョギングウォーキング (観光商工課)	9月	65	15	13	32
蘇武岳ハイク	5、10月	227	186	204	71
兎和野・瀬川平山岳歩こう会 (兎和野)	10月	65	120	77	57
三川権現ハイク	5月	77	75	63	27
香美神の頂に登ろう (香美町ふるさと山の会)	8月	66	62	38	65
スノーシューで歩こう (兎和野)	3月	39	24	-	-

※スポーツコミッション：ウォーキングネットワーク会議、兎和野：兎和野高原野外教育センター

※生涯学習課主催事業以外は聞き取りによる数値。

(2) 地域の特性にあったスポーツの推進

① 卓球

クラブ等の協力を得て、卓球台の設置や設置場所を増やし、練習できる環境を整えています。

② 駅伝

一般成人や小学生を対象にした駅伝大会等を開催しています。

〈大会参加チーム数の推移〉

イベント名	開催	(参加チーム数：チーム) / 参加人数：人			
		H29	H30	R1	R2
香美町駅伝競走大会	10月	(11)	(9)	(10)	-
		99	101	102	-
但馬村岡ミニミニ駅伝大会	10月	(116)	(86)	(76)	-
		696	516	456	-

③ ウィンタースポーツ

アウトドア活動団体と連携し、スキー、クロスカントリー、スノーシュー、雪合戦の各種教室の開催、イベントや大会を実施し、機会の充実を図っています。

〈大会参加者数の推移〉

イベント名	開催	(参加チーム数：チーム) / 参加人数：人			
		H29	H30	R1	R2
町民スキー大会	1月	75	55	-	-
兵庫県雪合戦大会	2月	(51)	(52)	(53)	-
		452	472	481	-

(3) 大会の支援と開催、教室の開催

① 大会の支援と開催

3つのマラソン大会、ウォーキング大会、雪合戦大会において、補助金を交付するとともに、特色ある内容となるよう支援し、参加者の増に努めています。また、練習の成果を発揮する場として、駅伝、卓球、剣道大会を開催しています。

〈大会参加者数の推移〉

イベント名	開催	参加人数：人			
		H29	H30	R1	R2
香住・ジオパークフルマラソン大会	4月	2,316	2,380	2,423	-
村岡ダブルフルウルトラランニング	9月	2,318	2,140	2,134	-
みかた残酷マラソン全国大会	6月	3,084	3,042	3,035	-
香美町小学生交流卓球大会	2月	71	68	59	-
香美町剣道大会	11月	37	28	25	18

※香住・ジオパークフルマラソンは、R2はオンライン開催です。また、R3に実行委員会が解散しています。

※マラソン大会は、実行委員会への聞き取りによる数値。

② 教室の開催

スポーツに親しむ環境を提供するため、幼児から高齢者まで幅広い世代を対象にスポーツ教室を開催しています。

〈教室参加者数の推移〉

教室名	開催	(実施回数：回) / 参加人数：人			
		H29	H30	R1	R2
元気体操教室	5～3月	(89)	(83)	(90)	(53)
		1,638	1,247	1,220	655
親子体操教室	6～11月	(12)	(11)	(12)	(9)
		181	158	317	298
転びにくい体づくり教室	10～3月	(18)	(18)	(14)	(9)
		318	254	227	132
短期集中水泳教室	7月	(5)	(10)	(10)	(10)
		77	108	141	104
水中ウォーキング教室	6～9月	-	-	-	(14)
		-	-	-	232
日本体育大学による運動教室	11～12月	(2)	(4)	(3)	-
		89	203	244	-

(4) 施設の利用状況

体育施設の利用人数の合計は、第2次香美町総合計画の施策指標としており、施策の展開により、令和7年度の目標値を92,500人としています。

なお、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、利用者の大幅減となっています。

〈体育施設利用者数の推移〉

施設名	利用人数（人）			
	H29	H30	R1	R2
香住B&G海洋センター体育館	48,817	34,396	32,352	20,598
香住B&G海洋センタープール	11,961	4,639	4,256	4,178
佐津体育館（旧香住第二中学校体育館、R3から使用開始）	-	-	-	-
村岡体育館	10,049	11,945	9,171	2,997
福岡体育館	10,470	8,497	8,132	3,558
射添体育館	10,807	10,896	11,710	5,134
味取体育館	326	303	284	60
山田体育館	988	327	822	272
おじろドーム	3,764	5,503	4,460	2,510
小計	97,182	76,506	71,187	39,307
佐津グラウンド（旧香住第二中学校グラウンド、R3から使用開始）	-	-	-	-
射添グラウンド	2,531	2,217	3,214	717
相岡すこやか広場	2,950	4,100	3,949	390
小代健康公園	2,444	2,242	2,889	1,797
広井多目的山村広場	595	1,306	1,045	542
小計	8,520	9,865	11,097	3,446
香住小学校グラウンド（夜間照明）	748	1,115	1,450	1,155
村岡小、中、兎塚小学校、射添グラウンド（同上）	3,269	3,090	4,100	1,525
小代小学校グラウンド（同上）	3,860	2,208	2,098	980
小計	7,877	6,413	7,648	3,660
合計	113,579	92,784	89,932	46,413

(5) 指導体制

スポーツ指導者には、スポーツ推進委員のほか、B&G専門指導員、楽しいスポーツ教室で競技指導する体育協会種目協会の指導者、クラブチームの指導者等がいます。

スポーツ推進委員、体育協会を中心に、ニュースポーツや運動能力の向上を図る研修会等への参加を促進しています。

〈町スポーツ推進委員会〉

団体名	人数(人)	主な活動
香美町スポーツ推進委員会	40	研修会参加、競技の普及活動、指導

(6) 団体の育成、支援

① スポーツクラブ21

「スポーツクラブ21ひょうご」香美町推進委員会を設置し、活動内容の共有や、後継者、事務局の育成等各クラブで課題に向合うとともに、クラブの情報発信により、町民の加入率増を図っています。

〈スポーツクラブ21の一覧〉

クラブ名	人数 (人)	指導者/ 会費徴収	主な活動	課題
おくさづ	32	1/あり	剣道、バレー、卓球	事務局配置、後継者
さつ	20	0/なし	GG、剣道、野球、ウォーキング等	後継者、財源
しばやま	407	7/あり	野球、バスケット、卓球、カー	参加促進、指導者
かすみ	200	9/あり	GG、サッカー、バレー、バスケット、卓球、ヨガ	事務局、後継者、財源
ながい	192	3/あり	ソフトボール、トレーニングジムの運営	事務局、後継者
あまるべ	59	0/あり	ウォーキング、GG、ソフト、卓球、バドミントン	参加、指導者、志向
むらおか	600	5/あり	体操、GG、陸上、卓球、登山	参加、後継者、拡大
兎塚	1,420	6/あり	GG、スキー、ソフト、バレー、卓球、登山、ヨガ	事務局、参加、後継者
いそう	158	12/あり	GG、ソフト、バレー、バスケット、卓球	参加、後継者、交流
ひょうご小代	157	5/あり	GG、野球、バレー、バスケット、卓球、スキー等	会員拡大
計	3,245	48		

※数値等は、令和2年度総合型地域スポーツクラブ活動状況調査、総会資料による。

② 香美町体育協会

香美町体育協会には、17の各種目協会があり、町民へのスポーツの普及推進と会員相互の交流を図っています。

また、卓球、空手、ソフトテニス、水泳、柔道、剣道協会では、B & G楽しいスポーツ教室として町から委託を受け、週1～2回競技指導を行っています。

〈町体育協会種目協会の一覧〉

団体名	人数 (人)	主な活動（※数字は回数）
野球協会	100	ナイトリーグ、大会開催2、練習会
ソフトボール協会	10	大会開催1、練習会
陸上競技協会	9	クロスカントリー、陸上記録会、ハイキング、練習会
卓球協会	36	教室、大会開催5、練習会
バレーボール協会	40	教室、大会開催3、練習会
家庭婦人バレーボール協会	66	教室、大会開催3、交流会2、練習会
バスケットボール協会	40	練習会
テニス協会	23	教室4、大会開催1、練習会
ソフトテニス協会	10	大会開催2、講習会1、練習会
水泳協会	10	記録会2、練習会
剣道協会	15	大会開催1、練習会
バドミントン協会	10	大会開催1、練習会
空手協会	17	大会開催1、寒中稽古、練習会
グラウンドゴルフ協会	100	大会開催16、練習会
スキー協会	110	大会開催1、練習会
3B体操協会	47	教室、イベント、練習会
柔道協会	6	講習会、大会開催1、昇級審査、練習会
計	649	

※数値等は、令和3年度市町体育・スポーツ協会実態調査等による。

③ その他クラブチーム

現在、町内には、13のクラブチームがあります。クラブチームは、選手育成の団体で、技術向上が図られており、近年、全国レベルとなる選手が誕生している競技もあります。

〈クラブチームの一覧〉

団体名	種目	人数(人)	指導者	構成	主な活動
香住ジュニアベースボールクラブ	野球	17	3	小学生	大会参加
香住ジュニアフットボールクラブ	サッカー	40	14	小学生	大会参加、フットサル
かすみミニバスケットボールクラブ	バスケット	15	4	小、中学生	大会参加
今子かけっこクラブ(いまごKC)	陸上	14	5	小-高校生	大会参加
村岡ジュニアサッカークラブ サンフォレスト	サッカー	25	7	小学生	大会参加・主催、合宿
ハチ北ジュニアスキーチーム	スキー	18	10	小、中学生	大会参加
村岡ジュニアバレーボールクラブ	バレー	3	2	小学生	練習のみ
村岡少年少女卓球クラブ ベコクラブ	卓球	13	5	小、中学生	練習のみ
矢田川ジュニアランニングクラブ	陸上	32	7	小、中学生	マラソン、駅伝、合宿、レク
おじろジュニアスキーチーム	スキー	29	5	小-高校生	大会参加、合宿
小代美小クラブ	野球	10	3	小学生	大会参加
小代バレーボールクラブ	バレー	10	3	小学生	大会参加
華兵ロートスカイ	卓球	13/66	10	小、中学生	大会参加・主催、合宿
計		239	78		

※数値等は、令和3年度代表者等への聞き取り調査による。

④ クラブチームと中学校、高校の部活動

小学校から高校まで町内全域で一貫して継続できる競技は、バレーボール、バスケットボールのみです。このほか、町内では、野球、卓球、陸上が比較的多くの年代、地域で実施可能となっています。

少子化から部活動の数が限られるため、特定の種目しかアスリートが育ちにくい状況と考えます。

〈部活動等の状況〉

(単位：人)

種目	小学生等 (クラブチーム)	香住 第一 中学校	村岡 中学校	小代 中学校	香住 高等学校	村岡 高等学校
野球	27	17			21	18
バレーボール	13	24女子	34	21女子	32	34
バスケットボール	15	42	22	23男子	49	39
テニス					3	
卓球	26	21男子	29		13	11
陸上	46	45			27	
スキー	47					17
空手道					12	
柔道					9	
ソフトテニス		32			28	
サッカー	65				15	
ボート					17	
バトミントン同好会					3	
計	239	181	85	44	229	119

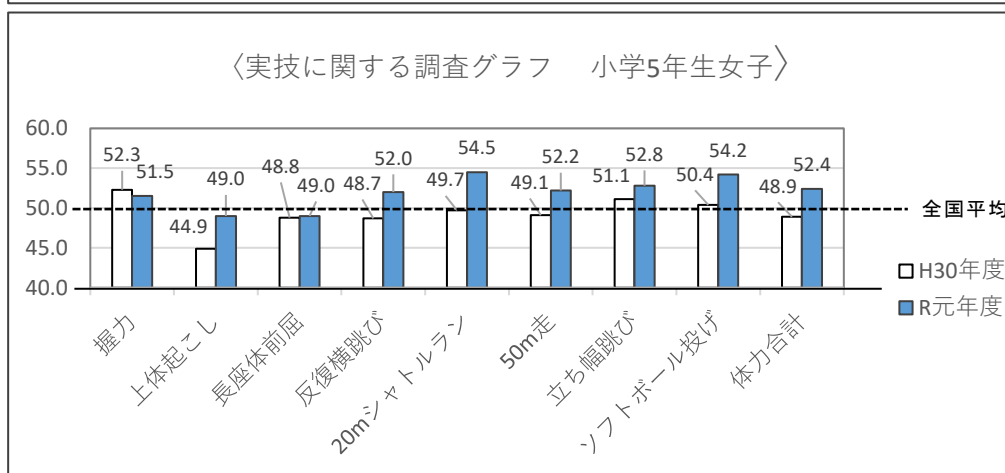
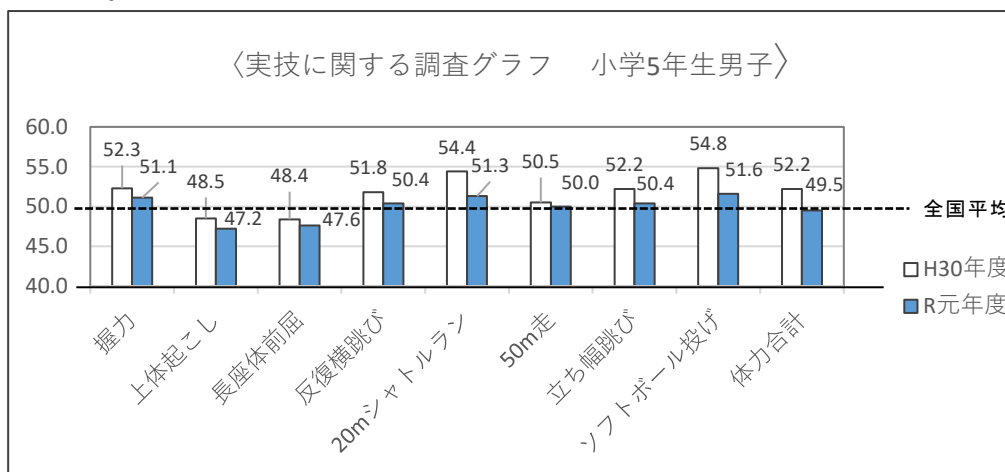
(※空白は該当のない種目。数値は、令和3年度学校情報サイト及び学校への聞き取りによる。)

(7) その他 令和元年度香美町の運動能力、運動習慣調査

[調査] 香美町
実施：平成31年4月から令和元年7月
対象：香美町小学生143人、中学生144人、全国小学生1,051,617人、中学生963,247人

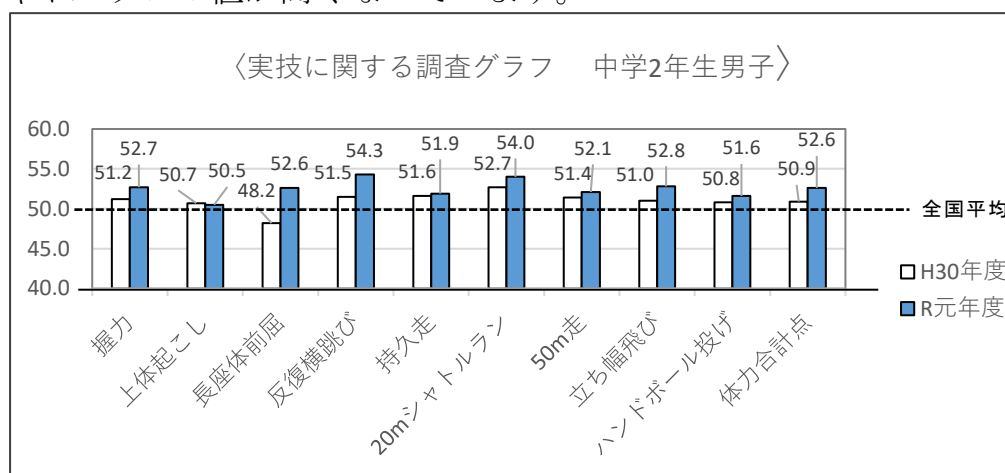
① 小学5年生

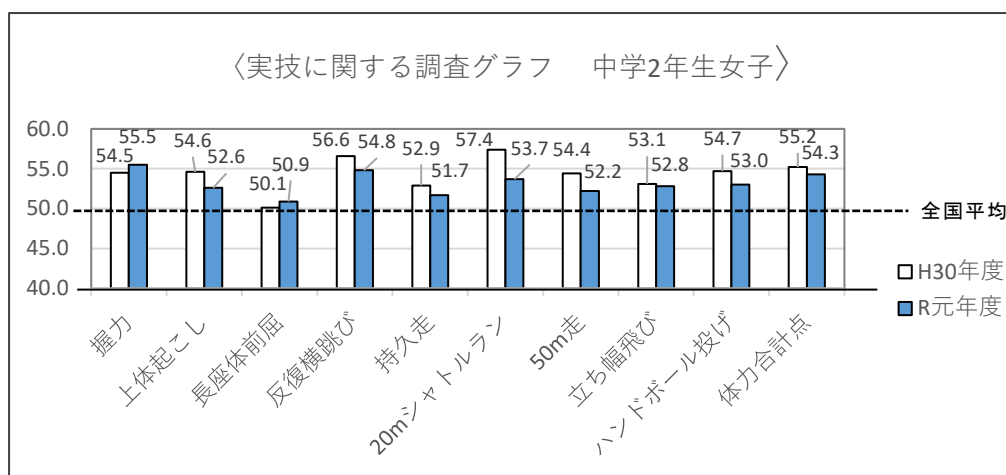
直近に行った調査結果では、上体起こし、長座体前屈以外の運動は、男女ともすべて全国平均を上回っています。体育指導の分析とともに、柔軟性を身に着ける運動をすすめることが課題と考えます。



② 中学2年生

同様の調査結果で、中学校においては、すべての項目で全国平均を上回っています。特に敏しょう性を求める反復横跳び、持久性を求めるシャトルランの値が高くなっています。



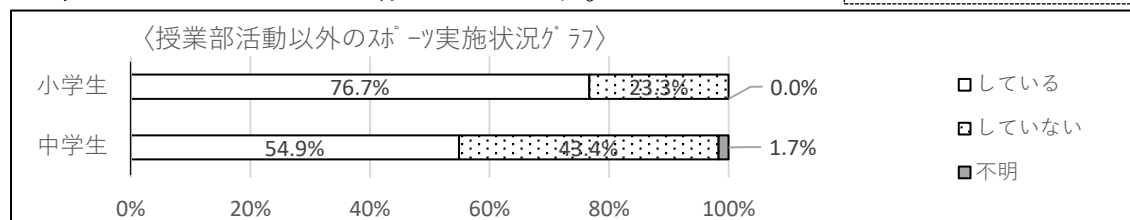


(8) その他 令和2年度スポーツ実施状況、大会参加にかかる調査

① 授業、部活動以外のスポーツの実施状況

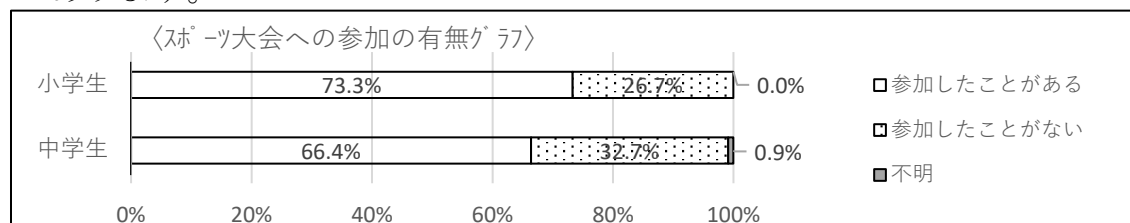
スポーツの実施率は、小学生76.7%と高いが、中学生になると54.9%と減っています。

[調査]香美町
実施：令和2年11月9日～29日
対象：町内幼稚園・認定こども園から中学校の保護者と20歳以上の無作為抽出した住民2,009人(保護者1,009人、住民1,000人)



② スポーツ大会への参加率

大会に参加したことがある子どもの割合は、小学生が73.3%、中学生が66.4%となっており、学年が上がるにつれて、少なくなる傾向にあります。



(9) 施設の整備、充実

機能維持のための修繕が主になっており、ニーズの変化に対応したハード、ソフト整備を実施する必要があります。

① 平成29年度

(単位：千円)

内容	金額
小代健康公園獣害対策電気柵等設置工事	664
小代健康公園芝刈り機等格納庫建築工事	853
広井山村広場整地工事	299

② 平成30年度

内容	金額
村岡体育館軒天剥落防護ネット設置工事	2,227
香住B&G海洋センター体育施設改修工事（屋根、便所、バスケットゴール改修、LED照明設置）	15,173
香住B&G海洋センター機械室機器改修工事（ろ過機、給湯ボイラー取替え）	7,527
射添グラウンドネットフェンス修繕工事	918
おじろドーム遮光カーテン取替・床樹脂塗装工事	686

③ 令和元年度

内容	金額
相岡すこやか広場フェンス修繕	1,533
広井山村広場真砂土補充正整工事	880
小代健康公園落石対策工事	2,679

④ 令和2年度

内容	金額
香住B&G海洋センタープール施設鉄骨修繕	876
相岡すこやか広場フェンス修繕	1,331

■ 第3章 スポーツ振興の方針

1 基本理念

全世代の町民が、豊かなスポーツライフを楽しみ、健康な暮らしと活力ある町づくりに繋がるよう、スポーツの振興を図る。

2 基本方針

人口減少、地域の空洞化が深刻となるこの時代だからこそ、スポーツが状況、社会を変える力を持つという価値を改めて認識し、次の3つの方針を掲げて基本理念の実現を図ります。

- 誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しめる環境を整える。
- 目標を抱き、あきらめず挑戦する人、その挑戦を支える人を育てる。
- スポーツを通じた、健康な体づくり、交流による地域づくりを進める。

3 基本施策、体系

(1) 施策

施策は、スポーツにかかる世論調査、町民のスポーツの実施状況を把握した上で、香美町で行っているスポーツ振興への取り組みと課題を掲げたものとします。

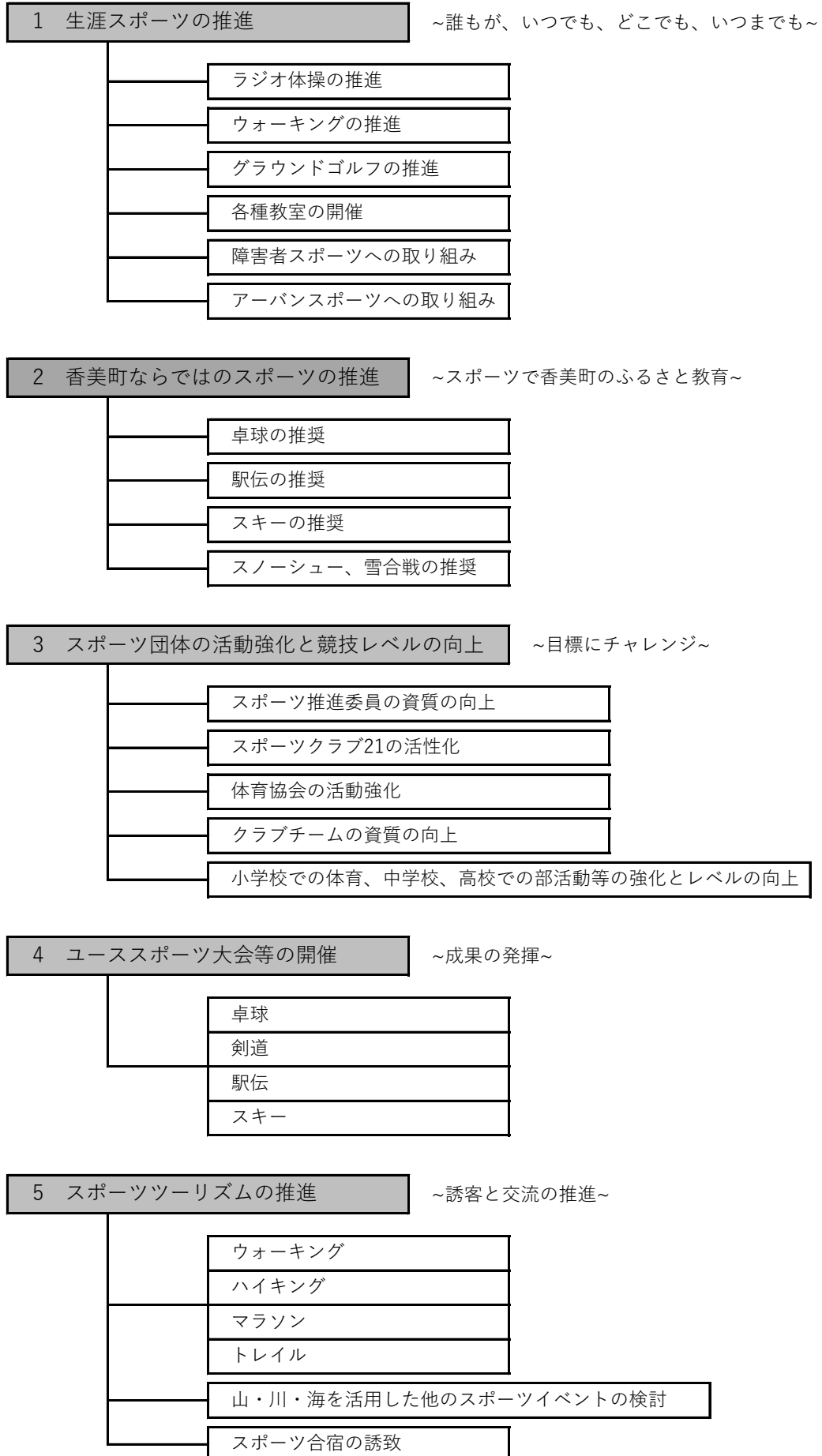
また、上記の基本理念と基本方針の実現を図ることを念頭に、5つのカテゴリーに分けて施策を展開するとともに、計画の推進と体制を明記し、本計画の着実な実施を図ります。

特に、第2期計画で新規、拡充する施策は、高齢者を対象としたスポーツ教室の充実、指導者の育成、運動技術・能力の向上の推進をより一層図るほか、東京2020オリンピックやワールドマスターズゲームズ2021関西を契機とし、新たに障害者スポーツ、アーバンスポーツ、スポーツツーリズムへの取り組みを行います。



〈施策の体系図〉

カテゴリー



■ 第4章 基本施策の展開

1 生涯スポーツの推進

生涯スポーツとは、幅広く多くの町民が生涯にわたって取り組むことが可能なスポーツであり、体力の向上、健康増進、人と人との交流による地域づくりを進めるスポーツです。

このため、継続できる手軽で身近なスポーツで、かつ、町民の体力づくり運動の一環として、ラジオ体操、ウォーキング、グラウンドゴルフを推進し、「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも」気軽に楽しめる環境を整え、スポーツ実施率の向上と普及に努めます。

また、幼児から成人まで幅広い年代を対象に、年代に合わせたスポーツ教室を開催し、町民がスポーツに親しんだり、学習する環境を整えるほか、新たに障害者スポーツへの理解を深める活動の展開と、若者や子どものスポーツへの参加機会を拡充するため、アーバンスポーツへの取り組みを進めます。

(1) ラジオ体操の推進

ラジオ体操は、人間の体をまんべんなく動かすために必要な運動を組み合わせられており、比較的負荷が少なく、気軽にできる全身を使った運動です。

加齢や生活の偏りなどが主な原因となる体のきしみを取り除き、人間本来がもっている機能をもとの状態に戻し、維持する効果があります。

また、地域や職場において集団で実施することにより、一体感が生まれるとともに、世代間交流の場ともなります。

しかし、多くの方が体操の大まかな動きを知り、体操への慣れから、必ずしも正しい体操を行っているとは言えない状況となっています。

このため、スポーツ推進委員、関係部署の町職員が公認資格を取得し、出前講座等で地域に出向いて、正確なラジオ体操の指導ができる体制を整えるほか、住民に体操のメリットを伝える等普及活動に努めます。

また、町主催のスポーツ大会、イベント等で準備運動の一環として、ラジオ体操を実施します。



(2) ウォーキングの推進

ウォーキングは、スポーツへの取り組みとして、最も手軽であり、年齢、性別を問わず楽しめ、多くの方に親しまれています。



また、有酸素運動となるウォーキングは、日常生活の歩きや散歩とは異なり、“健康のため”という目的を持って行うことで、体脂肪の燃焼や体質改善、高血糖等の生活習慣病予防に効果的な運動です。さらに、全身の筋肉が使われるため、血液の循環が良くなり、冷え症や肩こりの改善、一定時間続けるとリラクゼーション効果があると言われています。

このため、出前講座等で正しいウォーキングの方法と健康への繋がりを

伝えるとともに、イベントの開催や、ノルディックウォーク教室等を開催し、機会の充実を図ります。

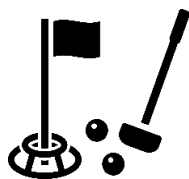
さらに、より推進を図るため、健康づくりのために行われている「香美町健幸ポイント事業」との連携や、30代～60代の働く世代をターゲットに、携帯アプリを活用したウォーキングの取り組みを進め、ウォーキングをすることで健康となるデータの活用を図るほか、スポーツコミッションであるウォーキングネットワーク会議により、情報交換や各団体の連携を図り、ウォーキング実施者の増加を目指します。



(3) グラウンドゴルフの推進

グラウンドゴルフは、体育協会種目協会、スポーツクラブ21の活動で多くの方が実施しているスポーツです。

グラウンドゴルフを楽しむことで、人と接する機会が増えたり、体を動かす時間が確保されるため、下肢筋力の維持、移動機能の保持など、心身に良い効果あると言われています。



このため、グラウンドゴルフを実施する場所の適正な維持管理や、公園等管理されている有休スペースの利活用をすすめ、多くの方が取り組みやすい環境を整えます。また、町の後援等により、現在行われている大会が、より活動的な大会となるよう支援します。

(4) 各種教室の開催

教室は、運動をする機会を増やすとともに、運動に対する正しい知識を身に付けていただくため、各年代に応じた教室を開催し、運動への興味・習慣、体を動かすことが好きな子どもの増加、スポーツを通じた心身の成長、運動不足の解消、介護予防や転倒防止等を目的に実施します。

① 幼児体操教室

幼児期において運動を促すことが、その後の運動能力へ大きく影響することから、運動への興味づけを目的としています。

B & G財団の幼児運動プログラムをもとに、5歳未満の子どもとその保護者を対象とした親子体操教室、5歳児を対象にした元気体操教室を開催します。



② 巡回体操指導

園所の生活の中で体を動かすことの楽しさ、習慣を身につけることを目的としています。



香美町内の全幼稚園とこども園・保育園(所)と連携して、年3回程度(各学期1回)を目途に、各園・所へ職員を派遣(指導補助)し、幼児運動プログラムに即した体操教室を実施します。

③ 楽しいスポーツ教室

運動技術の向上、あいさつや礼儀などスポーツにおけるマナー、同年代を超えた交流による心身の成長など、青少年の健全育成を目的としています。

小学生、中学生対象に、体育協会各種目協会等の協力を得ながら、12のスポーツ教室を開催します。



〈12のスポーツ教室〉

- ・サイクリング
- ・卓球
- ・空手
- ・柔道
- ・剣道
- ・水泳
- ・ソフトテニス
- ・ランニング（長距離、短距離）
- ・カヌー、ヨット（ロープワーク含む）

・チャレンジ教室

（小学校1～2年生を対象とした各種スポーツ教室）

・スーパーチャレンジ教室

（小学校3～6年生を対象とした各種スポーツ教室）

※各種スポーツ：ドッチボール、体幹トレーニング、タッチラグビーなど。

※調査結果より、小学生の柔軟性向上に係る種目を増やすほか、ゴールデンエイジとなる5、6年生は多種目を実施する。

④ 健康体操教室



日頃の運動不足の解消、介護予防、転倒防止などを目的としています。成人や高齢者を対象に、ノルディックウォーク教室、水中ウォーキング教室を開催するほか、福祉課等と連携し、転びにくい体づくり教室を開催します。

(5) 障害者スポーツへの取り組み

近年、ボッチャの人気や、東京2020パラリンピック競技大会等により、障害者スポーツの社会的認知と理解が深まっています。

そのような中、香美町においては、体育館での車いすトイレの設置、バリアフリー化がある程度整備されていますが、障害者スポーツの受け入れ体制、指導者やボランティアが充足している状況ではありません。

このため、障害者スポーツにかかる講習会の開催や情報提供等により、住民の認識、理解を高める取り組みを進めます。



(6) アーバンスポーツへの取り組み

総務省調査から若者のスポーツ離れが進みつつある傾向が示されました。

そのような中、従来の「体育」の概念から「楽しむスポーツ」「遊びの要素を取り入れたアクティビティ」が新しい時代のスポーツ「アーバンスポーツ」として推進が図られています。



アーバンスポーツの種目は限定されておらず、東京2020オリンピックで新採用された、ボルダリング、スケートボード、3×3などがそれにあたり、日常の生活に近く、手軽に行える都市型スポーツとなっています。

香美町においては、村岡高等学校にボルタリング施設、香住区にスケートパークがあり、また、町内に指導者もあることから、大会や講習会等の開催を支援し、若者や子どもを主にアーバンスポーツへの取り組みを促します。

2 香美町ならではのスポーツの推進

1000m級の山々と日本海に面し自然豊かな四季を感じる香美町は、スポーツを行う上で、恵まれた環境であると考えます。

このような香美町環境を活かし、かつ、少子化においても少人数で参加できるスポーツとして卓球、駅伝、スキーを推奨し、技術、能力の向上を図るとともに、目標を設定し達成するための意識、協力、行動力を高めます。

また、昔ながらの遊びである、スノーシュー、雪合戦を推奨し、体験を通じたふるさと教育を進めます。

(1) 卓球の推奨

卓球は、室内競技であり、少人数でも参加できること。また、小学生はクラブチームや楽しいスポーツ教室への参加、中学生、高校生は部活動として競技を実施でき、卓球協会もあることから、小学校から社会人まで一貫して行うことができ、推奨しています。



一流アスリートによる講習会等により、技術レベルの向上を図るとともに、実施者数に応じた練習環境の整備を行います。

(2) 駅伝の推奨

駅伝は、全ての運動の基本である「走る」に重点を置き、かつ、少人数でもチーム編成が可能なこと、チームワークの大切さや仲間と同じ目標に向かい達成感を学べる点を踏まえ推奨しています。

練習の成果を発揮する場として駅伝記録会等の開催や、教室を開催し競技実施の普及を図ります。



(3) スキーの推奨

スキーは、積雪地帯としての香美町の気候特性、スキー場などの施設環境が整っており、ふるさとの自然を活かすことができるスポーツです。

また、実施については、小、中学生を対象としたクラブチーム、高校の部活動があり、小学校から高校まで競技を行うことができます。



町内からは、基礎スキーとしてナショナルデモンストレーターに認定された方がいるなど一流アスリートが誕生しており、これらの環境、実施、実績を考慮し推奨しています。

補助制度を活用した講習会への参加、資格取得を促し、技術指導者の資質の向上を図るとともに、競技者のレベルアップに繋がっていきます。

(4) スノーシュー、雪合戦の推奨

スノーシューや雪合戦は、積雪の環境があっても、機会がなければ取り組みにくいスポーツです。

イベントや大会の開催を通じて、スノーシューでは、雪面のウサギの足跡や輝く雪の結晶を観察したり、雪合戦では、雪遊びから競技としてチームワークや戦術を学ぶなど、幼少期、少年期において「雪」をテーマとした体験活動を実施し、生涯にわたりふるさととして記憶に残る取り組みを進めます。



3 スポーツ団体の活動強化と競技レベルの向上

香美町のスポーツ団体は、香美町スポーツ推進委員会、香美町体育協会、香美町スポーツクラブ21、各クラブチーム、中学校、高校の部活動で構成されています。

スポーツ推進委員会は、各区に組織され全40人の委員が、研修参加、競技指導、ニュースポーツの普及活動を行っています。

体育協会は、17競技団体、約650人が競技指導や大会運営、競技のレベルアップに努めています。

スポーツクラブ21は、町内全ての小学校区（10校区）にクラブがあり、会員数3,000人を超え最も多く、さまざまなスポーツに取り組んでいます。

クラブチームは、13クラブ、約240人が参加しており、個々に技術の向上を図っています。

中学校、高校の部活動では、中学校は2～6種目、高校は5、12種目の競技スポーツを担当教員が指導者となって実施し、県大会に出場するなど、競技の技術向上が図られています。

各団体の活動を促すとともに、国際的な活動歴のある選手、指導者を招いた講演会等を開催し、スポーツの普及啓発、指導体制の充実により、個々の能力や技術の向上を図ります。



(1) スポーツ推進委員の資質の向上

スポーツ推進委員は、主にスポーツの実技指導、普及啓発を目的としています。



このため、研修会への参加を促進するとともに、ラジオ体操等住民からの要望に対する実技指導や、各委員の情報発信により、多くの町民がスポーツに取り組むための活動を進めます。

また、後継者の確保として、体育協会やクラブチーム等で活発に活動されている、あるいは活動されていた方をリストアップし、委員への加入を促します。

(2) スポーツクラブ21の活性化

スポーツクラブ21の活動は、多種目、多世代、多志向のクラブとして、卓球、バレー、グラウンドゴルフなど地域に根差したスポーツの取り組みが行われ、また、スポーツ活動を推進するだけでなく、地域コミュニティの場としての役割を果たしています。

しかし、人口減により、参加者の減少、指導者や推進を図る者の後継者不足を課題とするクラブが多くなっています。

このため、「スポーツクラブ21ひょうご」香美町連絡協議会等で協議を行い、各クラブの意向を伺う等の中、活性化に向けての調整を図り、また、町内クラブにおける活動の優良事例を広報等で情報発信し、取り組みを促します。

ほか、今後、総合型地域スポーツクラブの育成がすすめられることから、各クラブへ意向調査を行うなど、大型化への検討を行います。



(3) 体育協会の活動強化

香美町体育協会は、17の競技団体があり、主に技術の向上を図るため、競技スポーツとして活動を行っています。

また、教室や合宿、大会を開催し、小、中学生への技術指導を行ったり、練習の成果を発揮する場を設けるなど、各競技の推進が図られています。



17の競技団体では、活動内容に温度差が見られつつあり、課題等を把握しながら活動強化などに対する支援、指導者が、講習会、資格取得等へ参加するための支援を行い、町民が継続的なスポーツ活動を行えるよう環境を整えます。

(4) クラブチームの資質の向上

町内には、野球、サッカー、陸上、卓球など7種目13団体のクラブチームがあり、小、中学生を中心に活動が行われ、種目により、全国レベルとなる選手が誕生しつつあります。

小学生の競技スポーツの推進は、学校の授業の他、体育協会、クラブチームによる指導を主として技術の向上が図られています。

近年、資質や能力の高い指導者が求められているため、指導者が、講習会、資格取得等への参加するための支援を行い、指導者の資質の向上から、チームのレベルアップを図ります。



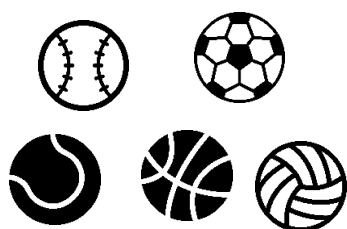
(5) 小学校での体育、中学校、高校での部活動等の強化とレベルの向上

小学校5年生、中学校2年生を対象とした「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、小学生、中学生とも、多くの種目で全国平均を上回る結果が出ています。

また、近年、県大会に出場する競技も多く、技術の向上が図られていると考えます。

小学生高学年は、スポーツにおける「ゴールデンエイジ」と呼ばれる年代で、生涯の内、最もスポーツ能力が伸びる年代であり、技能、技術を見るだけで取得できるとも言われています。

このため、小中学校の体育の授業では、調査結果で値の低かった柔軟性にかかる運動を補うとともに、中学校の部活動では、種目ごとに一流選手の動画を数多く見たり、動きを真似るなどの取り組みを進め、レベルの向上を図るとともに、高校で行われている、スポーツ関わる有識者の講演会等への参加を促します。高校では、調査データを共有し、部活動における技術向上に役立てるほか、要望に応じて、スポーツ担当部局の職員を派遣し、スポーツにかかる授業を行うなど、知識の向上を図ります。



小中高共通として、一定のスポーツ指導者研修を受けた人を登録制で組織化し、必要に応じて派遣する等、外部講師の取り組みを進めるとともに、児童、生徒に、個々に目標を設定し挑戦する取り組みを進め、人材育成を図ります。

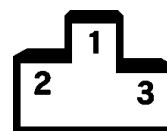
さらに、日本体育大学との連携協定により、大学職員やオリンピック等の講習、講演会を行い、運動能力、技術の向上を図ります。

4 ユーススポーツ大会等の開催

子ども達のスポーツを促進するため、但馬村岡ミニミニ駅伝大会兼香美町小学生駅伝記録会や、香美町小学生交流卓球大会を開催し、日頃の体力づくり運動や、目標を持って練習してきた成果を発揮する場、また、選手相互の交流の場を創出します。

ほか、スポーツ教室やクラブチームで、競技スポーツとして取り組んだ、剣道、スキーについても、香美町剣道大会や香美町民スキー大会として、子どもだけでなく、全町民を対象とした大会を開催し、成果の場を提供するとともに、次へのレベルアップを図ります。

なお、近年、参加者が減少傾向のため、ニーズに即した大会として充実を図ります。



5 スポーツツーリズムの推進

スポーツツーリズムとは、スポーツの参加や観戦等を目的に多くの方が地域を訪れることで、地域の魅力発信や消費の需要拡大により、活性化を促進するもので、近年、全国的にスポーツツーリズムへの取り組みが展開されています。

そのような中、香美町においては、スポーツツーリズムとなるイベント、大会が多く開催されており、今後、参加者のニーズを把握しながら、観光要素を取り入れたイベント、大会の開催や合宿の誘致を推進し、地域の活性化を図ります。



(1) ウォーキング、ハイキング、マラソン、トレイル大会の推進

町内で実施しているスポーツ大会、イベントの参加者は、どの大会等も横ばいから増加傾向となっています。

また、スポーツ庁が行ったスポーツの実施調査では、ウォーキング、マラソンが高い割合、登山、トレイルは一定の割合でそれぞれ実施されています。

大会参加者の満足度を高めることが、参加者の増、リピーターの確保に繋がると考えるため、アンケート調査等を実施し、次大会へ反映させるとともに、各大会、イベントごとに、最終的な大会等の姿「目標」を定めることを進め、目標の共有共感を図り共働へ繋げていきます。



(2) 山・川・海を活用した他のスポーツイベントの検討

本町におけるスポーツツーリズムをさらに推進するためには、現在行われている全国公募のマラソン大会等のほか、香美町の自然環境を活かした魅力ある新たなイベントを開催することが必要となります。

このため、他市町の人気イベントの動向、条件、町内での実施の意向など、多くの情報を収集し、観光関係者を含めた協議をすすめ、本計画内での実施を目指します。



また、2026年、ワールドマスタースゲームズ2021関西におけるオリエンテーリング大会の開催を控え、日本人だけでなく、海外からの参加者を受け入れる体制を整え、観光と融合した満足度の高い大会を目指した取り組みを行います。

(3) スポーツ合宿の誘致

各種スポーツ合宿については、町内に約110軒の宿泊施設があり、合宿に対応した施設やサービスの提供が可能と考えるため、宿泊施設へ意向調査を実施し、受入れを希望する施設でワークショップ等により誘客手法の検討を行い、誘致を進めます。

また、ワールドマスタースゲームズ2021関西の開催を契機に、オリエンテーリング競技についても合宿の誘致を進めます。



■ 第5章 施設の充実と計画の推進

1 施設整備の充実、利用率の向上



スポーツを実施する機会を創出するためには、施設を充実させることが必要となります。

このため、利用者が楽しく安全に施設を利用できるよう、香美町個別施設計画に沿った計画的な補修、改修、備品の整備を進めるとともに、利用状況に合わせた施設整備の見直しや、小、中学校の施設の利用促進、公園、広場等オープンスペースの有効活用を図ります。

また、利用者の利便性の向上を図るため、手軽に体育館等の予約ができるシステムの構築を進めます。

ほか、利用の少ない施設については、利用率の向上のための計画策定や、試験的な利活用を行い結果を検証します。

〈香美町個別施設計画による管理修繕の計画〉

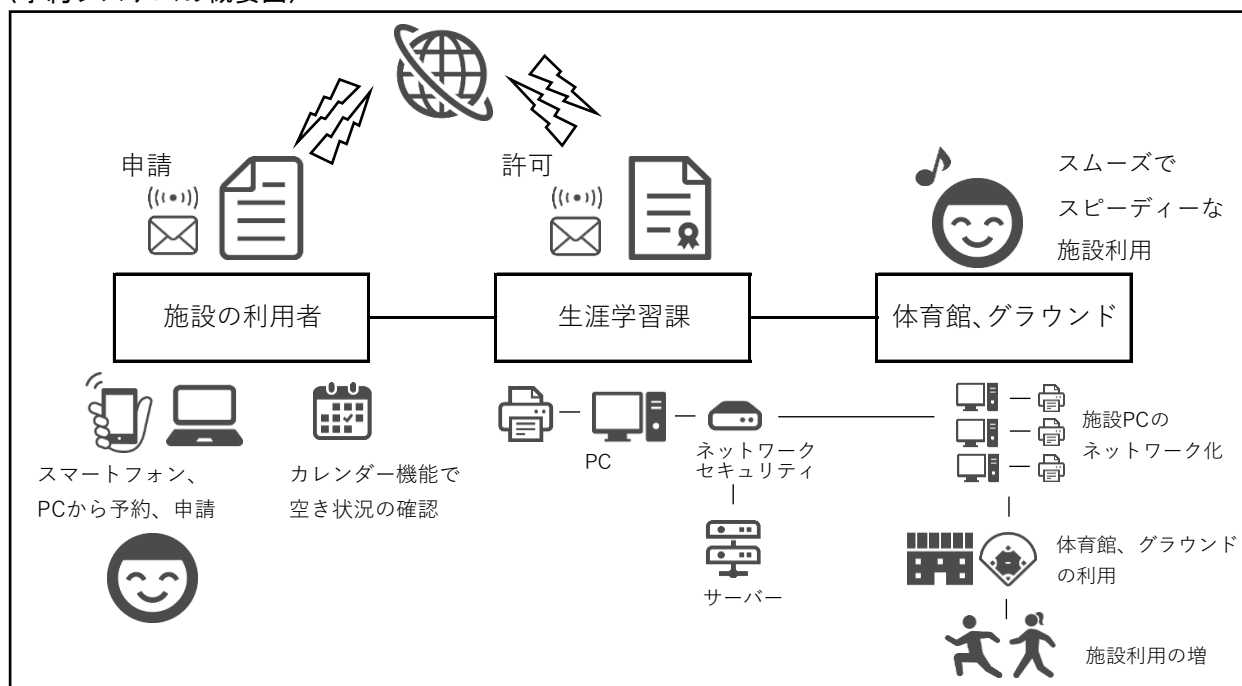
施設名	R4	R5	R6	R7	R8	R9
香住B & G海洋センター体育館				建具、通信、 空調、消火設備		
香住B & G海洋センタープール						空調
村岡体育館	耐震化を周辺施設一帯整備で検討		外構			
福岡体育館	一部屋根	トイレ				屋根、電力、 給排水、消火設備、外構
射添体育館		照明LED化				
山田体育館				解体撤去		
小代ドーム		屋根、外壁、 空調、外構				建具、通信、空調、換気、給水、消火設備
射添グラウンド	照明修繕、倉庫					
小代健康公園	落石防止			照明修繕		トイレ
広井多目的山村広場						管理道、駐車場、排水、管理棟
今子浦運動場	表土	表土				給排水、器具庫

(※維持管理により修繕の必要が生じない場合、急な修繕が必要となった場合等はこの限りではありません。)

(※建築基準法第12条第1項及び同法第12条第2項に基づく定期点検(特定建築物)の該当なし)

(※村岡体育館、福岡体育館は耐震診断及び耐震化が必要です)

〈予約システムの概要図〉



2 計画の推進と体制

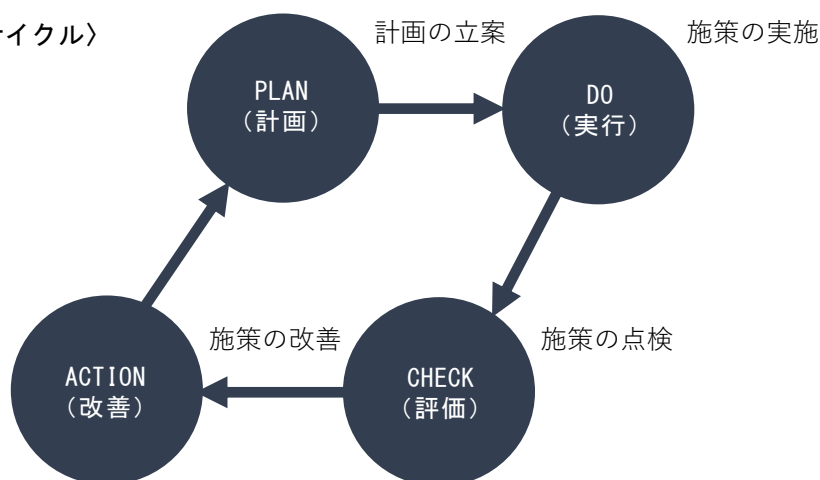
本スポーツ振興計画を推進するためには、基本理念に向かって、町民、各種スポーツ団体、観光団体、学校、行政等が、それぞれの役割を果たしていくことが必要です。（P31参照）

町民一人ひとりには、自発性の下に、健康に配慮しつつ、年齢や性別、適正に応じて、日常的にスポーツに親しみ、楽しむことをすすめ、行政、団体等は、関係機関が連携し、町民がスポーツへの関心を高めるための普及啓発を行うとともに、生涯にわたってスポーツに取り組むことができる環境を整えます。

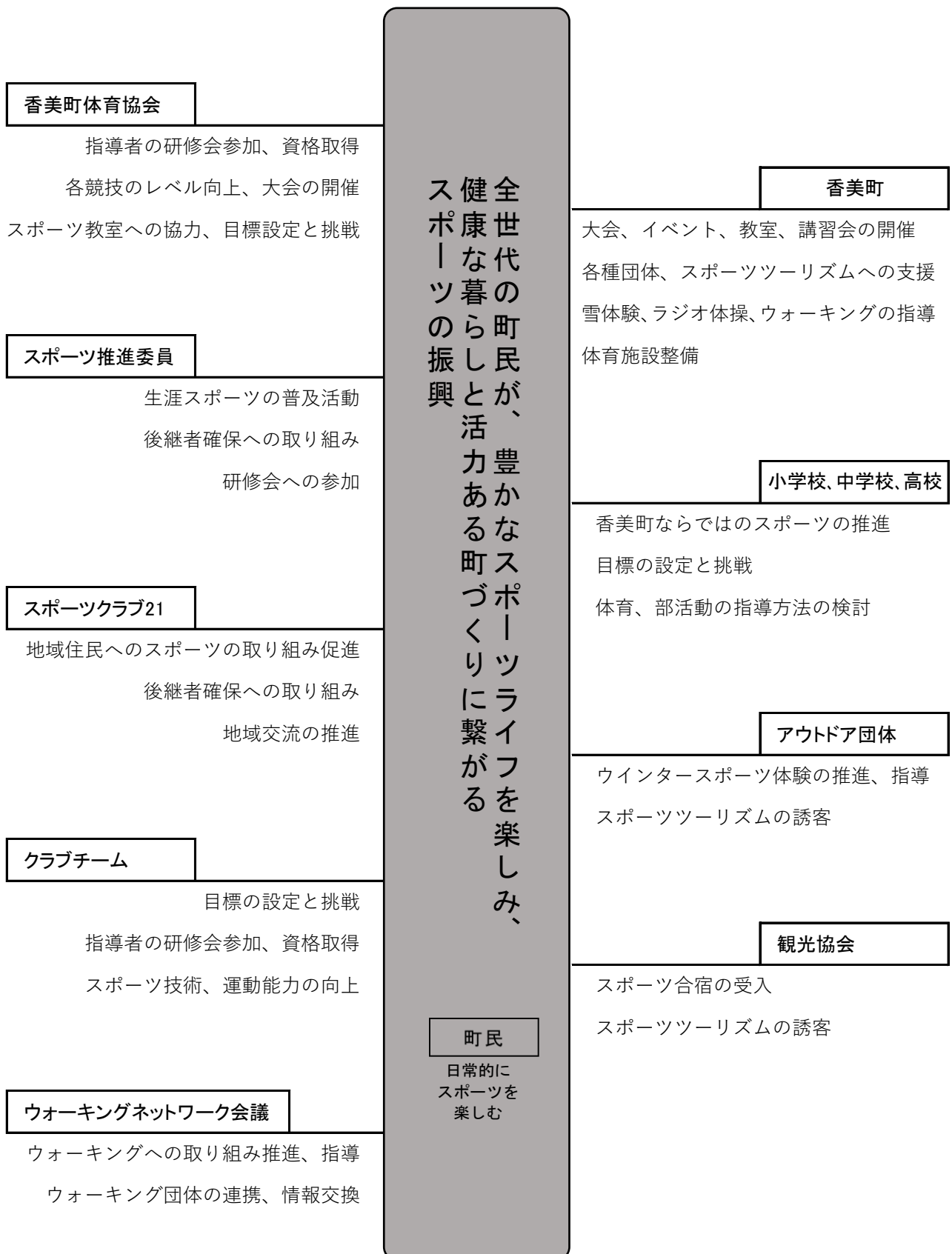
また、本計画を着実に実施するため、毎年、教育委員会の「事務事業点検・評価」を行うとともに、計画実施期間の中間年（令和6年度）には、外部による評価、検証を行うことで、PDCAサイクル（計画、実行、評価、改善）による計画の進捗を管理し、必要に応じて見直しを行います。

32頁には、ライフステージに応じたスポーツの取り組みを紹介しています。

〈PDCAサイクル〉



〈計画を推進する役割分担〉



参考

〈ライフステージに応じたスポーツの取り組み〉

項目		就学前	幼稚園	小学校	中学校	高校	青壮年	高齢者
生涯スポーツ	教室への参加	乳幼児体操教室	巡回型体操教室	楽しいスポーツ教室	楽しいスポーツ教室	講師派遣	マルチワーク教室	水中ウォーキング教室
		(親子対象)						転びにくい体作り教室
	ラジオ体操の実施			各種大会イベント	各種大会イベント	各種大会イベント	各種大会イベント	
			夏休み	夏休み、体育準備運動	夏休み、体育準備運動	体育の準備運動	職場	夏休み
	ウォーキングの実施		イベント参加	イベント参加	イベント参加	イベント参加	イベント参加	イベント参加
					携帯アプリで参加	携帯アプリで参加	携帯アプリで参加	健幸ポイント
	グラウンドゴルフの実施						実施場所の管理、確保	交流、練習、大会の開催
香美町ならではのスポーツ	障害者スポーツ			講習会参加	講習会参加	講習会参加	講習会参加	講習会参加
	アーバンスポーツ			取り組み	取り組み	取り組み	取り組み推進	
	卓球			クラブチームへの参加	部活動で実施	部活動で実施		
				楽しいスポーツ教室	楽しいスポーツ教室		指導者研修の参加	
				大会参加	大会参加		大会開催	
				日本体育大学講習	日本体育大学講習	日本体育大学講習	日本体育大学講習	
	駅伝			クラブチームへの参加	クラブチームへの参加		指導者研修の参加	
				楽しいスポーツ教室	楽しいスポーツ教室			
				大会、記録会参加	大会、記録会参加	大会参加	大会参加	
	スキー			クラブチームへの参加	クラブチームへの参加	クラブチームへの参加	指導者研修の参加	
				大会参加	大会参加	大会参加	大会参加	
	スノーシュー			体験	体験	体験	体験指導	
	雪合戦			体験	体験	体験	体験指導	

資料

香美町スポーツ振興計画策定委員会設置要綱、委員名簿
計画策定の経過

香美町スポーツ振興計画策定委員会設置要綱

(名称)

第1条 本会は、香美町スポーツ振興計画策定委員会(以下「計画策定委員会」という。)と称す。

(目的)

第2条 計画策定委員会は、令和4年度から令和9年度における香美町のスポーツ振興の方向を定め、町民が健康でかつ生涯にわたりスポーツに携われる環境形成を目指すための計画を策定する。

(所掌事務)

第3条 計画策定委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事務を行う。

- (1) 香美町スポーツ振興計画の策定
- (2) その他前条の目的を達成するために必要な事項

(構成)

第4条 計画策定委員会は、別表1に掲げる団体及び組織の役職員をもって構成する。

(役員)

第5条 計画策定委員会に、次の役員を置く。

会長 1名

副会長 1名

- 2 会長は、委員の互選により定め、副会長は、委員の内から会長が指名する。

(役員の職務)

第6条 会長は、計画策定委員会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

(任期)

第7条 会長、副会長及び委員の任期は、計画策定委員会が設立された日から第11条の規定により解散する日までとする。

(会議)

第8条 計画策定委員会の会議は、会長、副会長及び委員をもって構成し、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) スポーツの現状と課題
- (2) スポーツ振興の方向(理念、方針)
- (3) 施策(生涯スポーツ、大会、教室、指導体制、スポーツクラブの育成支援、施設整備)
- (4) 推進体制(役割、町民理解と参加促進)
- (5) その他前条の目的を達成するために必要な事項に関すること。
 - 2 会議は、必要に応じて会長が招集し、委員の過半数の出席をもって成立する。
 - 3 会議は、会長が議長を務める。
 - 4 委員が会議に出席できないときは、委員の所属機関または団体から代理人を出席させ、議決権の行使を委任することができる。
 - 5 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。
 - 6 会長が必要と認めたときは、委員以外の出席を求め意見または説明を聴くことができる。
 - 7 会長が必要と認めたときは、委員に対し、書面により意見を求め、その回答をもって会議の審議に代えることができる。

8 前項の規定に関わらず、会長は、緊急を要する場合、会議で審議すべき事項を専決することができる。なお、専決した事項については、次の会議で報告するものとする。

(事務局)

第9条 計画策定委員会の事務を処理するため、香美町教育委員会生涯学習課に事務局を置く。

(経費)

第10条 計画策定委員会の経費は、香美町の予算をもって充てる。

(解散)

第11条 計画策定委員会は、第2条の目的を達成した後、速やかに報告等を行い解散する。

(雑則)

第12条 この要綱に定めるもののほか、運営委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和3年9月1日から施行する。

別表1(第4条関係)

委員名簿

番号	職名	所属	役職
1	副会長	香美町体育協会	会長または副会長
2		香美町スポーツ推進委員	委員長または副委員長
3		香美町スポーツクラブ連絡協議会	会長または副会長
4		香美町ウォーキングネットワーク会議	会長または副会長
5		兵庫県立兎和野高原野外教育センター	所長または副所長
6		尼崎市立美方高原自然の家とちのき村	所長または副所長
7	会長	香美町連合自治会	会長または副会長
8		香美町観光連絡協議会	会長または副会長等
9		ハチ北観光協会	理事長または副理事長等
10		兵庫県立村岡高等学校	校長

計画策定の経過

月日	内容
令和3年9月1日	・ 香美町スポーツ振興計画策定委員会設置要綱の制定
令和3年9月21日	第1回香美町スポーツ振興計画策定委員会 ・ 委員の委嘱 ・ 香美町スポーツ振興計画策定委員会設置要綱の承認 ・ 会長、副会長選出 ・ 香美町総合計画、総合戦略、教育振興基本計画におけるスポーツ推進の方向確認 ・ 香美町スポーツ振興計画（現行）の審議、検証と次期計画に向けての提案 ・ 計画策定スケジュール確認
令和4年1月19日	第2回香美町スポーツ振興計画策定委員会 ・ 第2期香美町教育振興基本計画（該当部分）確認 ・ 第2期兵庫県スポーツ推進計画確認 ・ 第3基スポーツ基本計画（中間報告）確認 ・ 第2期香美町スポーツ振興計画（素案）の審議
令和4年2月17日	第3回香美町スポーツ振興計画策定委員会 ・ 第2期香美町スポーツ振興計画（修正素案）の審議 ・ 第2期香美町スポーツ振興計画の答申
令和4年3月3日	香美町教育委員会 ・ 第2期香美町スポーツ振興計画の決定
令和4年3月23日	・ 香美町教育委員会（定例会）報告 ・ 第12回定例校園所長会連絡

第2期香美町スポーツ振興計画

2022年(令和4年)3月

香美町教育委員会

〒667-1392 兵庫県美方郡

香美町村岡区村岡390-1

電話:0796-94-0101、FAX:0796-98-1532

E-mai: shougaigakushu@town.mikata-kami.lg.jp